

別添（議事録様式）

令和5年度 志木市立志木中学校 第4回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和5年11月2日（木） 11:00～12:40

2 場所 志木市立志木中学校 視聴覚室

3 出席者

山崎 徳生	村田 敬吾	中村 和子	渡邊 和枝
林 資子	安部 洋子	鎌田 勝之	本 莊 真

（計 8 名）

【事務局 進行 清水 智之 記録 植島 安英】

4 協議内容

（1）授業参観（学校公開授業）について

- ・昔は詰め込み授業だったが、今は考えさせる（ディベート）授業だった。
- ・相手の話をよく聴き、話が自分自身に入っていく印象だった。
- ・教え方が先生によって違う。すごい落ち着いている。
- ・先生方の創意工夫が見られてよかった。生徒たちも発表していて、参加感があった。みんなで創っているという感じを受けた。
- ・一生懸命子供が考えていた。素晴らしい。続けてもらいたい。
- ・ローテーション道德とは何か？
→1人の教師が1つの教材を1週間に1クラス、5週間～6週間かけて学年全クラス行う。そうしたら次の教材に移る。結果的に教材研究の負担が減る、というやり方。学年の他クラスの生徒も見ることができ、生徒指導的にも良い。
- ・高校は道德の授業はないので、各教科で道德心を育てる。生徒が生き生きとしていた。
- ・ややもすると規律を重視し静かな授業を展開しがちだが、ざわざわしていてもよいと考えている。
- ・ざわざわしていても見守る先生の大らかさが見られた。グループでも発表できてすごい。
- ・対話的な学び、生徒同士の話し合いを意図的に多く入れている。ただ、対話が苦手な子もいる。
- ・板書写せない子はタブレットを活用し、写している。
- ・インクルーシブ教育の視点から、かしわ学級の生徒が通常級で学習することはあるのか？

→生徒によって学習することもある。

(2) 学校評価について

- ・生徒アンケートを復活させたい。また、保護者アンケートの文言が曖昧で答えづらい、答える立場に立ってないと感じる。保護者や地域の皆さんの意見も聞きたい。
- ・持ち帰って文言について検討し、より将来の子供たちのためになるようにしていく。今年には時間がないので次年度に向けて動く。
- ・今年は一とまず、評価しやすいように文言をちょっと修正する。
- ・HPで公開されている学校評価アンケート結果は17項目なのに、保護者アンケートは14項目しかない。そういったところも修正する。
- ・⑥の評価が低い。保護者が評価しにくいのではないか。修正したほうがよい。

5 次回の開催日程

令和6年1月23日（火） 11：00 志木市立志木中学校 視聴覚室